

附属札幌中学校「学校だより」

藤 房

北海道教育大学
附属札幌中学校

令和2年3月6日発行

No.12

【新型コロナウイルス感染症への対応について】

保護者の皆様におかれましては、この度の新型コロナウイルス感染症に関わっては、ご心配されていることと思います。また、臨時休業の措置についてご対応いただき感謝しております。知事から緊急事態宣言が出されるなど、現在も予断を許さない状況が続いておりますが、学校としましては、子ども達の安全を第一に考えながら、対応を検討して参ります。ご家庭におかれましては、朝晩に体温を測定するなど、体調管理に十分ご留意ください。今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

環境整備ありがとうございました

2月22日(土)に今年度最後の環境整備として、父親委員会を中心に、保護者の皆様、子どもたち、教員が参加し、廊下の壁のペンキ塗りを行いました。多くの皆様にご参加いただき、当初予定していた以外の場所も美しく仕上げることができました。休みが明けた25日(火)の朝には、登校してきた生徒から驚きと感謝の声があがっておりました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



ここでは、当日参加して下さった2年C組の二階堂桜子さんとお父様の言葉を紹介させていただきます。

「校舎補修作業に参加して」 二階堂 朋人

昨年に引き続き、父親委員会の校舎補修作業に子供と一緒に参加致しました。

今年度は生徒さんの参加も多く、父親委員、先生方と大勢で協力し、廊下の壁の塗装作業を行うことが出来ました。

保護者として入学式や藤華祭を見学することはあっても、自ら校舎に手を加えるという経験は滅多にできるものではありません。壁が白く蘇り清々しいだけでなく、一緒に汗を流した思い出が子供の記憶に残ればと思っています。

もうすぐ卒業のシーズンを迎えますが、3年生の父親委員の方も委員会を卒業となります。長い間大変お疲れ様でした。

「刷毛の跡」 2年C組 二階堂桜子

先日、父親委員会の校舎補修作業に参加しました。この活動に参加したのはこれで2回目になります。今年生徒の参加も多かったため、にぎやかな雰囲気の中、壁のペンキ塗りをする事が出来ました。

父からペンキがはみ出さないように先に養生をすることや、塗り方のコツを教えてもらいながら精一杯塗っていきました。

作業後初めて登校すると、すぐに白い壁が目に入り、とても嬉しくなりました。頑張ったことを形にして学校に残すことが出来、改めてこの活動に参加してよかったと思いました。

私は、自分だけがわかる刷毛の跡を見つけることが出来ますが、今回ペンキが塗られたことにさえ気づかなかった人もいます。同じ様に、今まで私が思いもなかったことを、誰かがこの学校のためにしてくれていたことに気がつきました。

これからも学校生活の中で、たくさんの「跡」に気づき感謝の気持ちをもちながら過ごしていきたいです。



SDGs セミナー出前授業を行いました



SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは「Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標」の略称で、国連加盟 193 カ国が 2016 年からの 15 年間で達成するために掲げた目標です。今回は、3年生を対象に、SDGs への理解を深めるための、出前授業を行いました。SDGs アカデミーの村上彩子様と高橋優介様を講師に迎え、SDGs 体感カードゲームなどを通して、未来を担う一員として自分達にできることを考えました。義務教育の修了を間近に控えた3年生にとって、これから旅立つ社会について学ぶ貴重な機会になったのではないのでしょうか。

